

# 聖徳大学 **食** に関する講演会



入場  
無料

## 「言葉」から考える日本人の食 — もっちり、ねばねば、ほくほく、とろり… —

日本語の食感表現は445語もあり、他言語に比べてとても数が多くなっています。これは、日本人が食感に敏感で、繊細で、貪欲であることの表れでしょう。食感を言葉にすることで、食卓の楽しさが増すことはもちろん、作る側と食べる側の情報伝達が円滑になり、よりおいしい食事、さらには豊かな食生活にもつながるのではないのでしょうか。また、過去と比較したり、他言語と比較したりすることで、日本の食文化や現代日本人の食生活について考えるきっかけになれば、と思います。



講師：早川 <sup>ほやかわ</sup> 文代 <sup>ふみよ</sup> 先生（独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所  
食品機能研究領域 食品物性ユニット 主任研究員）

日時：平成22年11月6日(土) 13:00~14:30

会場：聖徳大学1号館 1219教室

参加費：無料 定員：150名(申込不要・先着順)



聖徳大学

<http://www.seitoku.jp/univ/>

SEITOKU

問い合わせ先

聖徳大学 知財戦略課

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

047-365-1111 (大代)

アクセス

JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線  
「松戸」駅下車東口徒歩5分

★公共交通機関をご利用いただき、  
お車でのご来校はご遠慮ください

